

大学あちらこちら

愛知淑徳大学

心理学部心理学科・心理学研究科

篠原郁子 (しのはら いくこ)

所在地：愛知県愛知郡長久手町長湫片平 9
<http://www2.aasa.ac.jp/faculty/psych/>

愛知淑徳大学は、名古屋市内の星が丘キャンパスと、名古屋市の東側に位置する長久手キャンパスの二つからなる大学です。現在、心理学部のほか、文学部、人間情報学部、メディアプロデュース学部、健康医療科学部、福祉貢献学部、交流文化学部、ビジネス学部の8学部と大学院(8つの研究科)を擁しています。本学は女子校として開学されましたが、1995年、創立20周年にあたって男女共学となりました。「違いを共に生きる」という理念のもと、性別のみならず、文化、年齢を超えて多くの学生が在籍しています。

心理学部心理学科について

本学部は、平成22年度に新しく誕生しました。とはいえ、本学での心理学分野の歴史は深く、文学部やコミュニケーション学部の心理学科としてあったものから、学部として独立しました。心理学部心理学科には、学びの内容として4つの領域が設けられています。生理心理学や認知心理学を学ぶ「生理・認知領域」、社会心理学を学ぶ「社会領域」、臨床心理学を学ぶ「臨床領域」の3つに加え、今年度には学部改組に伴い生涯発達心理学を学ぶ「発達領域」が立ち上がりました。東海地域の大学では唯一、発達心理学が独立した専門領域として設けられているのが特徴です。学部全体には19名の教員がおり(表)、学生は1学年に170名程度が在籍してい

ます。

積み上げ式のカリキュラム

1年次は「心理学概論」等で基礎的知識を学ぶとともに、心理学研究に欠かせないデータの収集、分析、考察を実践的に習得します。記憶や錯覚など代表的な心理学実験の実習も行われます。課題を体験し、学生が自分の知覚や反応に驚いたり納得したりする姿が印象的です。2年次には、全教員による専門分野の講義科目が開講されます。行動観察や生理実験などの実習もあります。3年次以降、ゼミで学びながら、卒業論文の完成をめざします。1年次からの積み上げ式のカリキュラムに基づき、4年間で、基礎的知識の習得から卒業研究の実践まで、幅広く学習を進めていきます。本学部の特徴として、とくに1・2年時の基礎科目を専任教員が細やかに教えている点が挙げられます。また、脳波測定やポリグラフ、ビデオカメラやアイカメラなどのさまざまな設備を使った実験を学部の授業で経験できる環境も、学生にとって魅力だと思われれます。

Profile — 篠原郁子



愛知淑徳大学心理学部心理学科講師。専門は発達心理学。学部では「社会性の発達」の科目等を担当。

大学院心理学研究科について

大学院心理学研究科には博士前期・後期課程があり、「生体情報心理学領域」「社会心理学領域」「臨床心理学領域」の3領域で構成されています。臨床心理士第1種指定校であることから、臨床心理士をめざす学生も多くみられます。学内には研修・研究施設として心理臨床相談室も開設され、地域からの外来を受け付けています。平成18年の愛知淑徳大学クリニックの開設により、医療と連携した心理相談が行われています。

卒業後の進路

学部卒業後には、公務員や教員になる学生、児童相談施設、社会福祉施設への就職などがみられます。大学院進学や、介護や保育の資格取得をめざす学生もいます。また、心理学の知識、データの収集や分析手法を活かして、一般企業の人事や教育部門、調査会社や情報関係の企業に就職する学生も多数です。心理学の学びを通して「『ひと』っておもしろい」と感じ、ひとが集う社会の中で活躍してほしいと願っています。

表 各領域の専任教員

生理・認知領域	社会領域	発達領域	臨床領域
沖田庸嵩 櫻井優太 清水 遵 松尾貴司 吉崎一人	植村勝彦 小川一美 斎藤和志 新美明夫	久保南海子 坂田陽子 神野秀雄 篠原郁子	市村多加子 河野文光 後藤秀爾 西出隆紀 古井 景 米倉五郎